

# 「文化の日」に市政功労者を表彰

11月3日(祝)の「文化の日」に、表彰条例に基づき市政に寄与・貢献された方々を表彰します(有功賞1人、功労賞6人)。また、日頃からさまざまな分野で活躍、善行奉仕をされている21人と4団体に感謝状を贈呈します。掲載の了解をいただいた受賞者は次の皆さんです。(順不同・敬称略)

**有功賞** ● 森芳人(元固定資産評価審査委員会委員長など)

**功労賞** ● **自治振興** = 藤井重孝(元部長)、増田威夫(元部長)

● **教育文化** = 山岸正和(前教育長職務代理者)、尾崎昌代(元校長)

● **福祉衛生** = 今井康陽(名誉院長)

**感謝状** ● **自治振興** = 今田洋、前田忠彦、北野辰雄、秋田壽美子、柴田親佳、舛見俊幸、正田新一、中田耕二、葛野明規

● **教育文化(個人)** = 葛村千代美、中川憲

● **教育文化(団体)** = きたてしまプラザマーガレットコーラス、コール しおん、混声合唱団エヴァグリーン

● **体育・スポーツ(団体)** = 明武館田邊道場

● **公安消防** = 上田純久、吉原文彦、小林徹也

● **社会福祉** = 北村憲也、前田正幸、藤井貴悦、高橋仁、中西博之

● **善行** = 松本真弓

問 秘書課 ☎754・6201

## STOP! 女性への暴力

11月12日(日)~25日(土)は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。また、11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。

被害者の多くが女性であるDV、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などは、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

市では、女性のための相談窓口やDV被害者らの緊急一時保護・避難支援制度などを設けています。一人で悩まずご相談ください。また、同期間に合わせて「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発展示を行います。

### 啓発展示

**時** 11月①2日(木)~30日(木)②20日(月)~24日(金)

**場** ①ダイバーシティセンター②市役所1階ロビー

**内** 「ケンカとDVの違い」「暴力の形態」「デートDV」などについての解説や各種啓発冊子の展示



全国一斉強化週間  
女性の人権ホットライン  
☎0570・070・810

人権擁護委員、法務局職員が夫・パートナーからの暴力、職場でのいじめやセクシュアル・ハラスメント、ストーカーなど女性の人権問題の相談を受け付けます。

**時** 11月15日(水)~21日(火)午前8時30分~午後7時  
(土・日曜日は午前10時~午後5時) **問** 大阪法務局人権擁護部第三課 ☎06・6942・9492

問 人権・文化国際課 ☎754・6231

# ツナガリエ石橋まつり ～ダイバーシティをチカラに～

ツナガリエ石橋で、お祭りを実施します。小さな子どもから大人まで、ぜひご参加ください！

**時** 11月18日(土)午前10時～午後4時

## 〈1階ステージ〉

- ①おはなし会 午前11時～11時45分  
**内** 大型絵本の読み聞かせなど **対** 幼児～小学生 **定** 25人
- ②インド舞踊 午後1時～1時30分  
**内** 本市在住の親子によるインド舞踊 **定** 25人
- ③ゴスペルミニコンサート 午後2時～2時30分  
**内** ホゼア・ベーカーさんによるゴスペル **定** 25人
- ④ミニ寄席 午後3時～4時  
**内** 猪名川亭立雀「青菜と小唄」、五月家鶯「万両婿」 **定** 20人

**申** 11月2日(休)午前10時から直接または電話で①④石橋図書館②  
③ダイバーシティセンター



## 〈1階ロビー〉

**内** 「外国人が見た日本」をテーマに、市内在住の外国人が撮影した写真を展示。皆さんの投票で、1位～3位を決定 **問** ダイバーシティセンター

## 〈2階わたぼうし〉

**時** 午前10時～正午、午後1時～4時。各15分 **内** ひろばの体験など **対** おおむね0～3歳児とその保護者  
**定** 各10組 **申** 当日午前10時から直接わたぼうし

## 〈5階フロア〉

**時** 午前11時～午後3時 **内** インドネシア、マレーシア、韓国、アメリカのスイーツや軽食の販売、LGBTQ+をテーマにした展示(会議室3内) **問** ダイバーシティセンター

## 〈全フロア〉

**内** 全館を回るスタンプラリー。クイズの全問回答者には景品をプレゼント(先着200人) **問** 石橋図書館



写真は全て昨年のまつりの様子

**問** ダイバーシティセンター ☎735・7588 石橋図書館 ☎760・2383 わたぼうし ☎761・6777

# 社会人落語日本一決定戦



「池田でアマチュアの落語家をたくさん育てていきましょう」

落語みゅーじあむの名誉館長である桂文枝さんの熱い思いから始まった「アマチュア落語講座」の開設から2年後に第1回目が開催された「社会人落語日本一決定戦」は、今年で15回目を迎えます。落語みゅーじ

あむで育ったアマチュア落語家はもちろん、仕事や家庭を抱えながら落語に打ち込む総勢324人の応募を全国から、そして、アメリカからいただきました。年々、予選会からハイレベルな戦いが繰り広げられています。出演者の思いが詰まった熱い「笑い」をぜひお楽しみください。

## 予選会

事前審査を通過した約150人が6つの会場で落語を披露。

**時**12月9日(土)午前11時(開場10時30分) **場**落語みゅーじあむ、中央公民館、池田駅前南会館、市役所7階大会議室、市民活動交流センター、西光寺



## 決勝戦

予選会を勝ち進んだ10人が市民文化会館の舞台上で競います。日本一が決定する大舞台の笑いと感動をぜひ一緒に。

**時**12月10日(日)午前11時(開場10時30分) **場**市民文化会館

〈審査員〉桂文枝(大会統括)、桂小文枝(落語家)、成瀬國晴(イラストレーター)、日高美恵(よせびっ編集者)

※決勝戦の観覧は、入場券が必要です。同券は10月25日(水)午前11時から落語みゅーじあむ(☎753・4440)にて配布しています。

※本誌10月号の決勝戦の日時に誤りがありました。「12月10日(日)午前10時」と記載していますが、正しくは「12月10日(日)午前11時」です。おわびして訂正します。



**問** 社会人落語日本一決定戦大会事務局 ☎753・4443

# 40歳になったら年に1回、健診を受診しよう!

無料



**対** 本市国民健康保険に加入中の40～74歳の方、後期高齢者医療制度に加入中の方

※受診日当日に国民健康保険（または後期高齢者医療制度）の資格がなくなっている場合は受診できません。また、特定健診・後期高齢者健康診査を受診する場合は、同一年度の人間ドックの補助は受けられません。

## 40～74歳の方は…

腹囲測定や血圧測定、尿検査といった基本的な検査と、生活習慣についての問診を行い、その結果からメタボリックシンドロームの危険性レベルを判定します。

## 75歳以上の方は…

糖尿病や高血圧症などの生活習慣病に加え、加齢に伴う心身の衰え（フレイル）などのチェックを行います。

### 利用の流れ

#### ①予約する

◎医療機関での受診

電話で受診券に同封の実施医療機関

◎休日急病診療所での受診

電話で同所 (☎752・1551)

(木・土曜日は休館日)

#### ②受診する

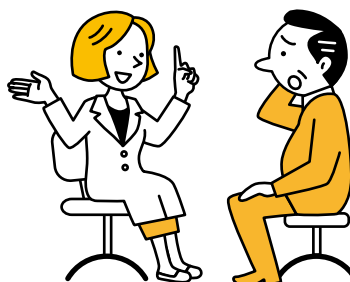
受診券と保険証を持って医療機関・休日急病診療所へ

#### ③結果を確認

検査結果の通知は、  
来院・来所での説明または郵送で行います

特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には**特定保健指導**が行われます。

※本市国民健康保険の加入者が対象になります。後期高齢者には、健康相談のご案内を送付しています。



#### 受診券を発行(再発行)したいときは？

本市国民健康保険に加入中の方は、国保・年金課に来庁または電話で発行の手続きができます。後期高齢者医療制度に加入中の方は保険医療課または府後期高齢者医療広域連合 (☎06・4790・2031) に問い合わせください。



**問** 国民健康保険加入者: 国保・年金課 ☎754・6253

後期高齢者医療制度加入者: 保険医療課 ☎754・6258